

SENGOKUHARA
Marutto Project



合同開催

仙石原〇っとプロジェクト：焚き火イベント
ちいさくはじめるスクール：お試しイベント

日時：3月5日（水） 11:00～15:00

●参加無料 ●出入自由 ●持込歓迎

場所：星槎大学箱根キャンパス

※ちいさくはじめるスクールとは

自分で何か新しく小商いをはじめようとする方の
第一歩を応援するスクールです。

たき火：用意されている焚火台をご使用いただき、お持ち込み
いただいた食材を焼いて食べたり、たき火を囲んで
お茶を飲んでお話ししたり自由です。

お試しイベント：第3回のこの日は自分のやりたいことを仲間ともに
まずはできるカタチでお披露目されます。



ちいさくはじめるスクールHP



〇っとプロジェクト
Instagram

問合せ：箱根町都市整備課都市計画係 0460-85-9566

注意！箱根町で 特殊詐欺の兆候！？

「点検商法」にご注意！

屋根・給湯器
要注意！

【点検商法とは？】

点検商法とは、「点検」と称して電話や訪問をして、「工事が必要」、「修理しないと危険」などと言って不安をあおり通常より高額な契約をさせる商法です。

箱根町でも、「近所で屋根の工事をしている、あなたの家の屋根が壊れているので修理をしてはどうか。」と訪問があったと通報が寄せられています。

被害にあわないために

- ① その場で点検させず、家族や地元の信頼できる業者に相談するなど、慎重に判断しましょう。
- ② 対面での対応はせず、インターホン越しに点検を断りましょう。
- ③ 断っても業者が帰らない場合は、最寄りの警察署又は110番に通報しましょう。
- ④ すぐに契約せず、別の業者から見積もりを取るなど、慎重に検討しましょう。

不安に思ったら消費生活センター
に相談！
いやや
局番なし「188」

他にも・・・！

最近、箱根町職員や町の協力団体と騙って「不用品の回収をします」と話す電話がかかっています。家の中に入り、貴重品の保管状況や家族構成を知るための強盗の下見の可能性もあるため、受け入れないようにしましょう！

被害に遭わないために

- ① その場ですぐに点検させず、家族や地元の信頼できる業者に相談するなど、慎重に判断しましょう。
- ② ガス会社や契約先の電力会社などに本当に点検を実施しているか確認しましょう。(関係のない業者が不要な工事を契約させるために点検をしているかもしれません。)
- ③ 対面での対応はせず、インターホン越しに点検を断りましょう。
- ④ 断っても業者が帰らない場合は、最寄りの警察署又は110番に通報しましょう。
- ⑤ 工事を勧められてもすぐに契約せず、複数の業者から見積りを取るなど、慎重に検討しましょう。(点検結果は、うそかもしれません。)

もしかしたら強盗の下見かも？

貴重品の保管状況や、家族構成など、個人情報や安易に教えないようにしましょう。

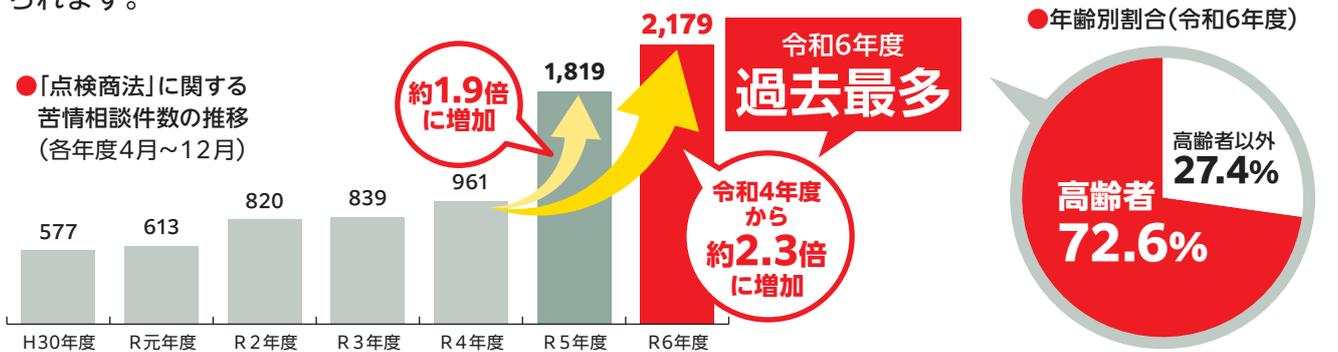


相談件数が過去最多!

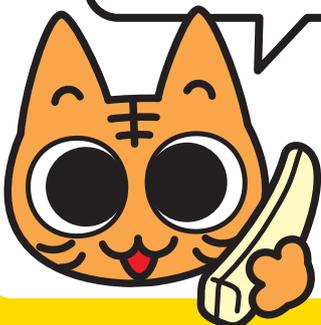
令和6年4月～12月の間に、県内の消費生活相談窓口寄せられた「点検商法」に関する苦情相談件数は、令和4年度同期と比較した昨年度の約1.9倍を大きく上回り、今年度は約2.3倍に増加しています。また、苦情相談件数も、過去最多の2,179件となっています。

契約者を年齢別に見ると、高齢者(65歳以上)の割合が高く、全体の約7割を占めています。

高齢者は自宅にいたることが多いため、電話や訪問による被害に遭いやすいことなどが理由として挙げられます。



クーリング・オフなどができる場合があります。
不安に思ったら消費生活センターに相談しましょう!



消費者
ホットライン

局番なし

い や や
188





湯本小だより

第9号

令和7年1月28日

箱根町立湯本小学校

長谷川 ゆき

～ 箱根教育合言葉 箱根を愛し かしく やさしく たくましく ～

1年
秋のおもちゃで遊ぼう



2年
手作りおもちゃで遊ぼう



最後の授業参観を行いました

1月8日に3学期が始まりました。3学期は1年間のまとめの学期でもあります。1年の中で一番短い学期ですので、1日、1日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

1月24日(金)に令和6年度の最後の授業参観を行いました。

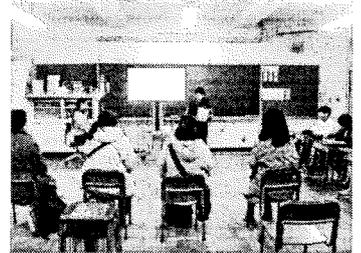
1・2年生は、生活科で作ったおもちゃについて、参観された方に遊び方を説明したり、実際に遊んでもらったりしました。遊んでいる方たちの反応を見ながら、どこを改善したらもっと楽しく遊べるか子供たちなりに再考したそうです。2月6日に湯本幼児学園のみんなにもおもちゃで遊んでもらうので、今日の経験をもとに、よりよい説明の仕方をさらに考えるそうです。

3年生は、洞爺湖町や横須賀市の小学校とのオンライン交流会の練習を見ていただきました。参観された方から「もっとゆっくり、大きな声で話すといいこと」「聞いている方に伝えたいという思いをもって話すことが大切」とアドバイスをいただきました。いただいたアドバイスを生かして、次回はもっと上手に発表したいと3年生は張り切っています。

5・6年合同合奏



5年
箱根町をもっと住みやすい町に!



4年生は、2分の1成人式を行いました。今まで育ててもらった感謝の気持ちを伝えたり、将来なりたいものについて発表したりしました。普段はなかなか言えない気持ちを伝えることができたようです。

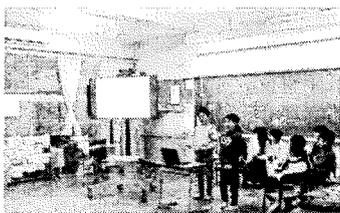
5・6年生は合同合奏を発表後、5年生は、「箱根町をもっと住みやすい町にするために」をテーマに子供たちが取り組んできたことを発表しました。子供たちがどのような願いをもってポスターを作成したのかがよく分かる発表でした。

6年生は、各自が選んだ名言を発表しました。その子らしい名言を選び、選んだ理由を自分の言葉で発表していました。どの名言・子供たちの説明も説得力があり、「素敵な名言を教えてくれてありがとう」と感心していました。

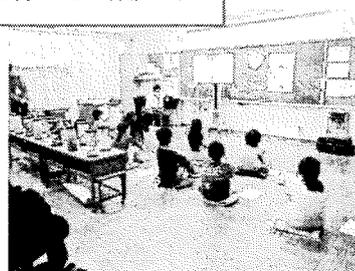
ご参観くださいました皆様、子供たちの発表を温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。また、感想やアドバイスをくださったおかげで、子供たちは自分たちの発表を見直したり、自信を付けたりすることができました。機会がありましたら、ぜひ、子供たちに感想を伝えていただけたら幸いです。

子供たちが頑張っている様子は、たくさんの方に見ては頂きたいのですが、授業参観で撮影された写真や動画は、ご家庭内でお楽しみいただき、決してSNS等に掲載されませんようお願いいたします。

3年
箱根町のよさを伝えよう



4年 2分の1 成人式



6年
知ってほしいこの名言



<6年生を送る会の日にちを変更しました>

体育館のサッシ等の工事が2月中に終了し、3月から体育館を使用できるようになりました。年度当初には2月21日6年生を送る会を行うとお伝えしていましたが、せっかくなら新しくなった体育館で実施したいと考え、実施日を3月6日(木)中休み～3校時 体育館にて実施に変更させていただきました。年度当初にお伝えした日にちからの変更となり申し訳ありません。

5年生が中心となって、6年生に感謝の気持ちを伝える会になるよう、全校児童でがんばりますので、ぜひ観にいらしてください。



学校だより

箱根町立箱根中学校

令和7年1月30日発行

第4号

発行者 多田 滋



箱根教育の合言葉「箱根を愛し かしこく やさしく たくましく」

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

令和7年の干支は、乙巳（きのとみ）。箱根神社によると、今年は「成長と結実の年」で、「自身を律して着実に進む」ことが大切だそうです。今年は「自律」を目標に、何事にも粘り強く取り組み、大きく成長する年にしていきたいと思います。

過去の巳年を振り返ると、1989年には昭和天皇が逝去され、元号が平成に。2001年には小泉政権が発足し、構造改革がスタート。2013年には当時の安倍政権でアベノミクスが始動するなどの出来事がありました。

平和について考える年に！

今年は過去に起きた様々な事故や事件や災害の節目の年でもあります。1月17日に阪神・淡路大震災、3月20日に地下鉄サリン事件から30年。6月29日に大涌谷の水蒸気爆発から10年。8月12日に日本航空123便墜落事故から40年。8月6日広島、8月9日長崎への原子爆弾投下、8月15日には終戦80年を迎えます。

去年のお正月の能登半島地震のことはよく覚えていると思います。遠く離れた箱根でも一気にお正月ムードがなくなりました。始業式でも黙禱を行いました。今年は今こうして普通に始業式が行われています。平和だからこそ、当たり前のことが当たり前に見えるわけです。

そこで、今日は平和について考えてほしいと思います。昨年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が受賞しました。核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が二度

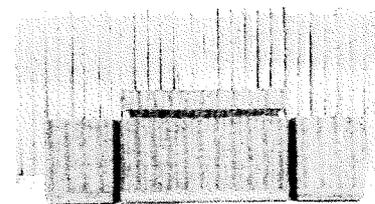
と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが受賞理由となっています。日本のノーベル平和賞受賞は、非核三原則を表明した1974年の佐藤栄作元総理大臣以来、50年ぶりでした。

ウクライナとロシア、イスラエルとハマス等、世界では戦争や紛争が絶えません。その原因は複雑で、日本人にはなかなか理解できないこともあります。しかし、唯一の被爆国である日本にできることは、戦争や紛争で二度と核兵器を使用させないことです。今後の日本を支えていくみなさんには、日本被団協の活動をきちんと理解してほしいと思います。自然災害を防ぐことはできないかもしれませんが、人間が原因を作っている戦争や紛争、事件を防ぐことはできるはずです。

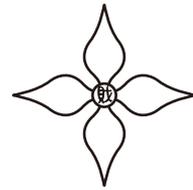
これから先、多くのことを学んで、当たり前のことか当たり前に見える平和な世の中を築く一員になってください。世界の箱根の中学生として何ができるか、今から考え準備していきましょう。

～3学期始業式 校長の話より（抜粋）～

（株）勝俣組様より創業110周年記念事業として、演台と演台カバーをご寄贈賜りました。様々な形で地域の方々に支えられていることを実感いたします。あたたかいお心遣いに改めて感謝申し上げます。



財団だより



第155号

令和7年2月号 (2025年)

発行
公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団
箱根町小涌谷520番地20
☎0460 (87) 5222(直通)
印刷所 (株)ホクト印刷
☎0465 (85) 0150

〈財団のシンボルマーク〉
箱根町の推奨木「ヤマボウシ」の図案化
住民等が財団を基盤に連携、調和、発展する姿を象徴する。

主催事業の風景

箱根町文化・スポーツ財団では、年間を通じて様々な事業を行っていますが、今年度実施した事業の一部を紹介いたします。これらの事業は、町の回覧「まちだより」でその都度お知らせしていますので、機会がありましたらぜひご参加ください。



「第2回」
9月10日 (火) 開催
好天に恵まれ強い日差しの中、41名の皆さんで、浜離宮恩賜庭園と迎賓館赤坂離宮などを見学しました。浜離宮恩賜庭園では、高層ビルを背景に、見ごろを迎えたキバナコスモスが私たちを迎え、潮入りの池や鴨場などを巡りました。迎賓館赤坂離宮では、天井画やシャンデリアをはじめ、壁に施された彫刻や装飾、床に敷かれている絨毯に至る荘厳・華麗な雰囲気圧倒され、時間を忘れてしまうようなひと時を過ごすことができました。

町外の文化施設を訪ねる会

木々が色づき始めた中、34名の皆さんで、山梨県立リニア見学センターと柏尾山大善寺(ぶどう寺)、久保田一竹美術館を見学しました。リニア見学センターでは、超電導の特性や仕組みを、実験を通じて学ぶことができました。大善寺では、国指定重要文化財のぶどうの房を手にされた薬師如来像(秘仏のため写真パネル)などを拝観しました。久保田一竹美術館では、特別展「光響」を通じて、「一竹辻が花」の世界を堪能しました。



「第3回」
11月13日 (水) 開催



10月17日 (木)、35名の皆さんで、世田谷区にある大谿山 豪徳寺と豊島区にある萬頂山 高岩寺(とげぬき地藏尊)を巡りました。豪徳寺では、ご住職からお寺の縁起や「招福猫児」(招き猫)の由来などのお話を伺うことができました。高岩寺では、参拝の後、境内にある「洗い観音」にもお参りし、お寺の前の巣鴨地藏通り商店街を見て回るなど、お香の漂うお寺の雰囲気味わうとともに、にぎわう商店街の散策を楽しみました。

町外の古刹・名刹を訪ねる会

ヒーリング・ヨーガ教室

心と身体の健康の維持・増進を目的に、6月28日から9月27日からの、それぞれ5週にわたる金曜日に、社会教育センター軽スポーツ室で、ヒーリング・ヨーガ教室を開催しました。それぞれ20名と18名の皆さんが、講師の方からご指導をいただきながら、大変和やかに無理のないペースで、呼吸と身体の一感覚を感じながら心地よい汗を流し、自分と向き合うひと時を過ごすことができました。



ぶらぶら歩く会



歩くことを通じて健康への関心を高め、地域の自然や文化とのふれあいを深めることを目的に、7月24日(水)に元箱根周辺を、11月27日(水)には強羅・早雲山周辺をぶらぶら歩きました。それぞれ12名と16名の皆さんが、箱根観光ガイド協会の案内人の方から、元箱根では、箱根神社や駒ヶ岳山頂の箱根神社元宮など、強羅・早雲山では、箱根美術館や大雄山最乗寺別院などを見学し、健康維持の大切さを実感するとともに、地域の自然、文化や歴史とふれあうことができました。

生活文化講座

11月26日(火)に、生活文化講座として「筆ペンで自分の名前をうまく書けるようになるう！」と題した講座を開催しました。11名の皆さんが、文字の基本となる点や線、止めや払いなどの「基本点画」をはじめ、漢字の偏やつくりのバランス、筆ペンの持ち方や姿勢など、講師の方のきめ細かなご指導のもと、時間を忘れて大変熱心に取り組まれ、筆ペンで祝儀袋などに自らの名前を書き入れる自信につながるできました。



善意のご寄付

文化・スポーツ財団の円滑な事業を進めるために、お寄せくださいました善意のご厚志に心から厚くお礼申しあげます。
(6年9月18日から7年1月30日まで受付分) (敬称略)

令和6年度
賛助会員ご芳名

〈個人会員〉

湯川喜美子・三浦 妙子
平野 清美・勝俣 美枝
柳 共子・桐谷 綾子
河野 宣子・勝俣 恵子
岡本 光代・徳田 典久
片瀬 厚子・松村 良雄
深辺 恵子・矢崎 一洋
徳田 浩子・内田 恭司
石川 忠之・勝俣 曜子
波田野憲子・波田野裕介
児玉 直子・萩野たまき
内田よう子・福田 暁美
鈴木 和夫・宮沢 宏行
宮沢真樹子・柳澤 昌子
柳澤 雅敬

〈企業・団体会員〉

シイアンドシイ・システム
合同会社 芦ノ湖テラス

ファミリー 写真コンクール

第8回

本年度で8回目を迎えるファミリー写真コンクールを実施し、22点の応募をいただきました。

応募作品の審査には、元神奈川新聞社映像部副部長の山田信次さんを審査委員長にお迎えして、当財団の理事が審査員となって厳正な審査を行い、応募作品の中から特選2点、入選3点、特別賞2点を選出しました。

山田審査委員長からは、『応募作品は昨年より4点多く22点あり、嬉しく思います。そんな中で「第8回ファミリー写真コンクール」には、親子でぶどう狩りを楽しむ作品や、女の子がドラム

を叩く元気な作品なども出品され、微笑ましく思いました。今回は、笑顔に満ちたファミリー写真が多く見られましたが、中には幻想的な花火の作品などもあり、楽しめました。今年は、犬や猫など、ペットの参加がなかったのが残念でした。

写真は、表現力と記録性の双方の力を備えています。いつでも見たいときに見られ、その時代背景をよみがえらせてくれるのも写真です。カメラはもとより、誰もがスマホを持つ時代です。家族の皆さんで、楽しい写真に挑戦してはいかがでしょうか。』と総評をいただきました。本コンクールは今後も実施する予定ですので、多くの方々の応募をお待ちしております。



特選

パパと葉月とひまわり

勝俣 かやのさん



作者からのメッセージ

1歳になった葉月。はじめましてのひまわりに、天使のような笑顔に向けて…



審査委員長選評

親子をひまわりが包み込むように迎えているようで、華やかな作品ですね。



特選

思い出を重ねて

青山 ふみさん



作者からのメッセージ

毎年、新緑とツツジのコラボを楽しみにお散歩へ。そんな時間を大切にしたいです。



審査委員長選評

姉弟を、ピンクや白のツツジが「元気になってね」と応援しているようです。



入選

「さてお茶しましょう！」 大熊信之祐さん
「やっと会えたね」 望月 知世さん
「海、サイコー!!」 澤田江津子さん

特別賞

「夏休み」 伊東 利恵さん
「私はドラマー」 黒川トウイさん

令和7年度賛助会員の受付は4月から

公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団では、皆さんの自主的な文化・スポーツ活動を支援、育成し、豊かな住みよい町づくりに寄与することを目的に設立されました。その活動の財源は、当財団の基本財産から得られる預金利子などを中心に、町からの補助金と賛助会員の会費をもって運営しております。つきましては、当財団設立の趣旨をお汲み取りいただき、社会貢献活動の一環として、多くの方々が賛助会員に加入していただきたく、切にお願い申し上げます。

賛助会員の会員資格は、毎年、ご加入の日から翌年の3月末までとなります。

令和7年度は、4月から受付をいたします。

*賛助会員年会費

- ・個人会員
1口 2,000円 (何口でも可)
- ・企業・団体会員
1口 10,000円 (何口でも可)

*賛助会員特典

- ★年3回発行の財団だよりの配布
- ★主催事業参加費の割引
- ★箱根町宮城野・仙石原テニスコート
使用料の割引

▼取扱金融機関

- ・郵便振替 口座番号/00260-0-61251 口座名義/公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団
- ・さがみ信用金庫湯本支店

口座番号/普通口座0078972

口座名義/公益財団法人箱根町文化・スポーツ財団 理事長 阿部佳信

*振込用紙をお送りいたしますので、ご連絡ください。 *恐れ入りますが、手数料をご負担ください。

▼直接、窓口にお越しいただく場合

箱根町小涌谷520-20 社会教育センター内 公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団

Tel・Fax : 0460-87-5222

事業・活動への補助金交付のお知らせ

公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団では、箱根町の文化・スポーツの振興を目的とする各種事業（活動）を行う団体等に、活動助成や運営支援のための補助金の交付を行っています。令和7年度に、これらの事業（活動）を行う団体で、補助金の交付を希望される場合には、所定の用紙に必要な事項を記載のうえ申請してください。

申請書を提出していただいた後、審査を行い、承認した団体には、補助金を交付いたします。

なお、審査内容については非公開としますが、審査結果については、代表者に通知します。

四季彩写真展

社会教育センターの1階ギャラリーにおいて、箱根の四季折々の風景写真を展示しています。写真は、箱根写真美術館館長で写真家の遠藤桂氏による箱根と富士山を題材とした作品を展示しています。お近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



ご案内・お問い合わせ

公益財団法人 箱根町文化・スポーツ財団の事務所は、箱根町社会教育センター1階にあります。業務時間は、土・日・月・祝日及び祝日の翌日を除く平日の午前8時30分から午後5時までとなります。TEL・FAX 87-5222 Email: bunsupo520@gmail.com